

複式学級の解消に関する説明会 会議録（北河原）

- 1 開催日時 令和3年4月17日（土）午後1時00分～3時00分
- 2 開催場所 北河原小学校体育館
- 3 出席者 28名（保護者18名、地域10名）
- 4 教育委員会 鈴木教育長
 学校教育部 吉田部長、安藤次長
 教育総務課 長島課長、上野主幹、久積主査、柏瀬、田沼

5 会議内容

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	1 開会
鈴木教育長	2 あいさつ
鈴木教育長	3 複式学級の解消に関する方針 ・資料を基に説明
出席者	4 質疑 <p>一昨日の教育委員会での情報を話しておいた方が、皆さんが考える時にいいと思うので伝えたいと思う。教育委員会は4時からはじまって、議案ではなく、3つの案から協議を進めることになった。それは須加のことだったが、須加小は荒木小17世帯、桜ヶ丘小が17世帯と希望が半々に分かれた。それをどうするかということで、2時間にわたって、バスの定員など細かいことも含めて議論がされた。その議論では、荒木小・桜ヶ丘小の両方に通える、荒木小、桜ヶ丘小という3つの提案があった。両方に行ける雰囲気だなと私は思ったのだが、最後に教育長がまとめてくれて、須加小は荒木小と統合するとなった。その時に教育長の地域の学校を大事にしたいと思いが伝わってきた。後で会議録が公開されるので、読むとよく分かると思う。そういう流れで荒木小と統合となった。そうなる荒木小を廃校にして、新しい学校を作るので、これから進めるとなると大変困難な状況にあると思う。その議論を5時54分までやって、その後、北河原小については5時54分から1分間で教育委員会は終了した。北河原小が南河原小に編入することについては、教育委員会の前にやった教育総合会議でも、教育委員の発言がなく、教育委員会の提案が通った。須加小は同数だったからというのはあるかもしれないが、その時に忍小に行きたい5件をどうするのかとか、どういう気持ちでそういう希望が出てきたのかという議論がなされてもよかったのではないかなと思った。残念ながら、4人の教育委員は、1人の意見</p>

もなく、決まってしまった。編入という言葉なのだが、須加小の場合は、桜ヶ丘に編入するとは書いておらず、通学すると書いてある。北河原小の場合は南河原小に編入するとなっている。編入という言葉もどういう気持ちで教育委員会が使っているのか理解しないといけない。高校では、退学した生徒が入る時に編入を使う。退学しないで学校が変わるのは転入と言う。例えば、市や町が編入と言うが、そういう意味で捉えているのではないかなと思う。編入の意味をどうやって理解するかによって、北河原の児童がどういう扱いをされるのかという問題がある。結果だけ言えば、北河原小を廃校して、通学区を南河原小に変えて、南河原小に行くだけのこと。編入という言葉を使って、一緒に関わっていくということではなくて、通学区が変わって南河原小に登校することになる。保護者にとっては自分の子供の行く場所があるのでいいが。地域にとってどうなるかを考える時がある。例えば、4年前にこのアンケートを取っていたら、どういう結果になるか。4年前は南河原小との統合を進めていて、統合になる直前に、私から見たら南河原地区の反発によって、統合が消えた。4年前にアンケートを取ったら、おそらく南河原小を選ぶ保護者は極めて少ないと思う。現在の保護者が北河原小の歴史を決めないといけない、4年前だったら違う結果になっていたかもしれない、そういうレベルの話を保護者のアンケートで片方が多いからと言って、そっちにしますというのがあっていいのかと思う。全国的にどんな再編成も統合で解消している。統廃合で解消することによって、物事がうまくいく。北河原は廃校だけで通学区を変えることになる。本来あるべきではない。教育長が先ほど非常に良い事を言っていたが、本来なら南河原と統合という形で持って行ってこそ意味が出てくる。須加小だけ統合で、北河原は編入ではまずいと思う。教育委員会もつらいと思う。白紙になった計画は前市長の時に作って、実施する時には新市長になった。タウンミーティングに来た時に、新しい市長は「こんな計画は実現不可能」という否定的な意見を述べている。その状況の中で教育委員会は迷走してきている。でも、我々が対峙しているのは教育委員会なので、こうやって言うわけだが、色々考えた結果、本来の形の3校統合でやるべきだと思う。あそこまで進んだ義務教育学校が荒木の一部の人達の活動で潰れた。北河原の事をまったく考えない極一部の方が自分達の事だけ考えて、潰してきた。そうしたら荒木と一緒に嫌だとなると思う。本来の北河原の歴史を考えれば、北河原と荒木と須加と統合して1校にするのが、本来の姿だと思う。実現不可能だと思うが、希望としては、1年伸ばして、1年かけて3校統合でお互い理解し合うのがいいという思いはある。

出席者	須加は統合で、北河原は編入なのか。3校が一緒になるのであれば、統合という話を最初に聞いたと思う。須加が荒木に行くだけでも統合となるのか。
吉田部長	保護者の説明会の最初の頃に説明をさせていただいたが、統合と編入と自由選択という資料を示した。統合の場合はこれまで交流もしてきたので、北河原小、須加小、荒木小が一緒になる場合は統合で進めたい、それ以外を選ぶ場合は編入になると説明した。その後も保護者から話が出た学校は編入であると話をしていた。ただ、3校の統合はなくなったが、2校でも統合で進められるので、須加と荒木については統合で進めたいと思う。
出席者	どういった理由で統合なのか。
吉田部長	3校で1つになれば統合と最初の資料で示した。そこから北河原は抜けた形で須加と荒木の2校での統合となる。北河原は統合から外れたイメージになると思う。
出席者	北河原も須加も同じ境遇なのに、なぜ須加は統合となるのか。子どもが変わるから保護者の考え方も変わってくる。
吉田部長	最初の説明が荒木を選択するなら統合としていた。
出席者	3校ではないのか。
出席者	2校になっても統合という話はなかった。
吉田部長	須加はそのまま荒木を選択して統合という形で決めた。
出席者	普通に考えて、編入になるのではないか。
吉田部長	荒木の方も統合でいいということで。
出席者	荒木小の名前のままで須加小が入ってくるなら、統合でなくて、編入ではないのか。
吉田部長	荒木小の名前も変わる。

出席者	こっちもそうしてほしい。話が違ふと思う。今までの経緯を聞いていると、多数決と言っていたのに、多数決ではなかった。なんのために小学校や中学校を見てきたのか。
出席者	荒木小ではそんな話は出ていない。
吉田部長	まだ、須加の方針を決めただけなので、荒木には話をしていない。これから荒木には話をしていく。
出席者	須加には2時間も時間をとって、北河原は1分で済ませるというのはどういうことか。
吉田部長	教育委員会の中で話がされたもの。須加の方が保護者の意見が分かれた。
出席者	うちらもそうではないか。
出席者	それぞれ皆あるので、多数決で決めてしまうのは納得ができない。
吉田部長	これまでも、最終的には保護者の意向でと説明をさせていただいた。
出席者	中央・星宮が一緒になるのは統合だと思う。2校だろうと3校だろうと統合、編入を使い分ける理由がわからない。地域によって差別しているように感じる。教育がゆがめられている。4年前の北河原と南河原の統合の時に、校名まで変えて新しい学校を作るとしてしたが、結果として潰れた。全部が同じならいいが、あるところは統合、あるところは編入というのがあるのか。
吉田部長	これまでも説明の中で、荒木を選択したら統合、それ以外は編入で進めるとしていた。保護者の意向を話し合いなどで確認した。
出席者	情報が入っていないので、違った意見になってしまうかもしれないが、アンケートを取ったら北河原小の児童は南河原小への編入が多いから、南河原に決めたということか。この前も説明会出た時に荒木小と須加小と北河原小が一緒になって校名を変えて新しい学校を作るとして、それはいいなと思った。荒木、須加、北河原が一緒になって、見沼中に新しい良い学校を作ろうとしていると、9分9厘理解していた。どういうわけか、最後のアンケートで駄目になった。非常に残念だった。

吉田部長	<p>その後、小学校3校が荒木小で統合していきましようとして理解していた。今日の話だと、教育委員会の決定の報告会のような。これはちょっとおかしいのではないか。アンケートの取り方も色々あって、こっちの道だけを選んで取れば、そうになってしまう。今日来ている方も地域の事をよく考えているので、須加、荒木、北河原の状況を考えていただき、じっくりと検討し直してもらった方がいいのではないかと感じた。</p> <p>今年の初めに、保護者との話し合いの中であがった南河原小、荒木小、北小、忍小の4校に対してのアンケートを行った。その結果を見ると、南河原小、忍小が保護者の希望する学校として多かった。それまでの話し合いの中で、荒木小を選択した時は、荒木小、須加小、北河原小で統合という形になるが、それ以外は編入となると説明してきた。そうした中で、南河原小と忍小の2校に絞って話し合いを進めていいかと確認して、2校に絞った話し合いをした。そして最終的な意向調査をした。</p>
出席者	<p>今さらな話になってしまうのだが、未就学児で今回のことで初めてもらったのがアンケートの手紙だった。それで今回の件を知った。その時のアンケートで、3校の統合になる時にどう思うか須加や荒木のアンケートを見てみたいと書いた。今回、荒木と須加が統合となったが、心象としては、荒木の一部の方のせいで義務教育学校がなくなってしまったけど、2校が統合で進むと聞いていれば、こちらの保護者の考えとしても、選択肢の中に入ったのかなと思う。須加の状況が全くない中で、どうしますか、どうしますかと2校に絞られていった部分もある。その話を聞いていれば、私自身は考えが変わったかもしれない。</p>
吉田部長	<p>保護者の話し合いの中で、あまり須加の情報は伝えてなかった。須加も保護者の考えが色々変わってきており、最終的には荒木小と桜ヶ丘小の2つに絞られたが、それまでは色々な選択肢を考えられていた。そういったことから、2つに絞った話は、どちらも決定した段階でなかったので、須加の情報を知らせていなかったし、須加にも北河原の情報を知らせてなかった。</p>
出席者	<p>子どものことになると、どうしても感情的になってしまう。南河原というのは決定なのか。忍小を希望する人はどうするのか。須加の方は桜ヶ丘と荒木に分かれたというが、どのように分かれたのか。バスの運行はどのように考えているのか。教育委員会はどのように受け止めて、どういう説明をしたいのか。今言っていること自体、北河原はいいのではという感じで最初からやっているのだから、教育委員会での話を聞いた時に</p>

吉田部長	<p>凄く頭に来た。それではやることはない。何年も前から一生懸命やってきた人の努力はどうなるのか。すごく悔しい。</p> <p>これまで説明してきたが、南河原を指定校にしても忍小を希望する方はそちらでも大丈夫。どっちかに決まっても、違う所に行きたい場合は自由選択で大丈夫。ただ、交通手段については保護者の責任でお願いしますと説明してきたと思う。</p>
出席者	<p>北河原の子が、星宮小のバス停まで行ったら、そこから連れていってくれることも可能か。もしくは北河原にバスの停留所を1カ所か2カ所作ってもらいたい。</p>
吉田部長	<p>最初の星宮の件は可能かもしれない。バスの乗車人数に余裕があるかどうかは今わからないが、同じ学校に行くわけなので技術的には可能だと思う。ただ、こちらにバス停を設けるとするのは、時間的な部分で朝は大丈夫かもしれないが、帰りは同じバスが行ったり来たりするので、次の予定の時間までに間に合わなくなる可能性はある。そうすると難しいと思う。</p>
出席者	<p>小学生は行事関係も素早いし、保護者もある程度連絡が取れている。子どもの安全を守る方向性でいてもらいたい。ある程度代表の方たちに北河原のことについて話すべきだと思うし、対応があまりにも杜撰すぎて、地域の皆さんのことを考えると沢山ある。北河原をどうしたいのかな。できれば、いい方向に持っていきたい。南河原に行ったらどうなるのかなと考えたりするのだが、ウェルカムの人もいると思うが、「今さら？それなら10年前にしたらよかったのに」とか「やっぱりな」、「入れてやるよ」という人も中にはいると思う。子どもがいじめられないだろうかという親の気持ちもある。親がそういう目を見た場合、子どもにそのように話したら、子どもは大人と違ってストレートだから、いじめになるかもしれないと考えたから忍小を希望した。安全で楽しい学校生活を送らせたいという親の気持ち。近くが良い保護者もいる。それはやむを得ないことだと思う。それをこっちにしますと言うのであれば、希望する人に選択していいですよという道を開けてもらいたい。それを保護者に言わせること自体おかしい。それをわかっている人がある程度選択肢を見せてくれれば、考えてくれるなら歩み寄ろうという気持ちになる。決定しますと言われて、考えてますかと聞いたら、考えてませんでは腹が立ってしまう。</p>

吉田部長	<p>保護者の方の気持ちもわかるが、これまでも同じような説明をしてきたと思う。保護者の方も何度も話し合いに出てきてもらって、色々な問題点を出し合って、話し合いを進めてきたと思っている。</p>
出席者	<p>今回、南河原に1年で行った子の親から聞いた話だが、転入のせいでそうなったのかわからないのだが、南河原の近くの通学班にまぜてもらえず、保護者が送るように言われていて、送迎を毎日している。編入だと通学班が分けられてしまうのか。</p>
吉田部長	<p>まず、バスは決まった所に出す。距離で2km程度を目安にバスを出すと考えている。通学班については、北河原地区の児童の指定校は北河原なので、南河原小に通うためには何らかの事情があって、指定校変更をしている。指定校変更の場合は保護者の責任で通学してもらうことになる。もし、南河原小が指定校になれば、その中で通学班ができる。ただ、距離があればバスに乗れるということになる。</p>
出席者	<p>須加が2つに分かれたが、荒木小と須加小が統合になった時、桜ヶ丘小を希望した17人は統合でなくて、自由登校で学校を選ぶということか。</p>
吉田部長	<p>指定校変更という形になる。</p>
出席者	<p>その子達もバスは出ないで、親が送迎するのか。</p>
吉田部長	<p>基本はそういう形になる。ただ、最後はどうなるかわからないのだが、意向調査で17対17になったので、一昨日の総合教育会議で市長の方から、人数によって、例えば15人以上いれば、荒木に指定校を決めたとしても須加地区はバスを2台出すのだから、うまく使えば、桜ヶ丘小に出してもいいのではないかという話をしていた。一昨日発言があったばかりなので、何人以上がいいかという部分は考えられていないので、今後、検討していきたいと思う。</p>
出席者	<p>星宮の方から、星宮公民館にバス停を設けて、皆さん合流して小学校へ行くと聞いた。北河原で希望する子はそこまで行けば、乗せてくれるのか。</p>
長島課長	<p>2km以上の距離のところ、何力所かバス停を設けられるような所を話し合いしている。そのバス停まで連れて来てくれて、バスに乗れ</p>

出席者	<p>る人数に満たなければ可能かもしれないので、検討をさせてもらいたい。</p> <p>3月13日の意見交換の時に、何年後何人になるという資料をもらった。南河原小の方が多かったから北河原小は南河原小に行ってくださいになっているが、10年後には1学年十数人くらいになってしまう。今回やろうとしている複式学級解消が果たせるという結論になるのか。教育委員会の仕事は、もっと長い目で行田市全体を見るべき。アンケートも大切だとは思いますが、アンケートとは別にこういう理由だからという風に、感情論を抜きにして数字だけで表した時に教育委員会はそういう考え方をしたことはあるのかなと思う。南河原小になって、もしかしたらまた複式学級になってしまうというのでは困る。そこを考えた上で、南河原小に行ってくださいというのであれば、それはそれでいいのかなと思う。結局またバタバタになってしまう気がしてならない。</p>
吉田部長	<p>生まれていない子はわからないが、現在生まれている子で考えると、7年後の南河原小と北河原小を合わせると、多い学年で25人くらい、少ない学年で11人くらいなので、この段階では複式学級は発生しない。その後も学年のばらつきはあるが、20人前後はキープできると思う。保護者が選択肢の一つに南河原小を入れた時もしばらくは大丈夫かなということ、話し合いを続けていた。</p>
出席者	<p>クラス替えの話が出てくる。教育委員会の考え方として、複式学級が解消されたから20人くらいのクラスで6年同じ顔触れでもいいとなるのか、クラス替えが必要となるのか。</p>
鈴木教育長	<p>元々の適正配置の方針では、20～30年後の将来的な展望として、中学4校、小学8校に集約する形にならざるを得ない。その中の段階的な北部地域の再編成計画ということで、義務教育学校として北部に学校を残して、人数的な増加はないものの、市内から集まってくるようなシステムにして、北部の教育を作っていきたいと思っていた。それが、残念ながらなくなってしまったが、北河原小の現状をみるとこの先厳しい状況があるので、より教育環境のいい所を選んで進んでもらいたい思いで話し合いを続けてきた。総合教育会議でも教育委員会でも提案をさせていただき、このような形になった。地域と共に学校はできてるし、「家庭でしつけ、学校で学び、地域で育てる」は普遍的なものだと思っていて、地域の力なくして学校はやっていけないと思う。この地区でも地域をバラバラにしたくないと思っている。そういう意味では、いきなり自</p>

	<p>由選択ではなくて、最終的な中学校4校小学校8校は、中学校区を中心にしていきたい。地域の実情と人数の推移もあるし、それだけ長い時間が経てば、社会の変化、教育の変化もあると思う。でも、早急には、今ある複式学級は解消しないといけない。この教育環境は子供にとっては丁寧に見てもらえていいかもしれない。ただ、教員の配置とか色々な部分でこの先続けていくと難しい部分がある。義務教育学校が駄目になった後、子どももどこに行くのか不安を抱えていると思う。早急に子ども達が安心して、安定した学校に進めたいと思う。それには、熱を出したり、ケガをしたり、地震があったり、何かあった時にすぐに駆け付けられる。その中で、より近い学校に行ってもらいたいという思いは強い。ただ、これまでの経過の中で保護者から意見を伺いながらやっていくということ胆としてやってきたので、まずはどのような学校を考えているかという意見を聞きながら、また皆さんから学校が見たいという話があって色々な学校に見学もしてきた。その後、今現在でどのように思っているかというアンケートをとらせていただき、それを踏まえて最後の意向調査をするに至った。決してアンケートだけで決めてきた思いはもっていない。また、中学校区を中心に編成計画一つ一つを考えてきたので、見沼中学校区の中で学校が一緒になるのであれば統合、中学校区を越えた学校の場合は編入と捉える。もともとの資料の中に荒木と須加と北河原の統合以外の所を選ぶ、つまり中学校区外に行く場合は編入となる。だから、見沼中学校区でないのも、桜ヶ丘小も南河原小も編入になる。今言ったような説明はなかったかもしれないが、端的な形でこれまで図表などで説明をしてきた。</p>
出席者	<p>見沼中を中心に考えると言いながら、南河原小と忍小というのは不思議で、見沼中を中心にした選択肢がない。「いい教育の定義はこうなんですよ」、「アンケートを取って保護者はこう考えていて、それは教育委員会の考えとあっているから、今回こういう選択をした」という説明がないと、根拠に欠けるところが多い。見沼中を中心と言いながら見沼中の選択肢がない。その矛盾もなぜかわからない。今回、南河原小にすると言われても、「はいそうですか」とはならない。結局何をしてほしいかということ、「教育委員会はこう考えているからこうなんですよ」というのが知りたい。</p>
出席者	<p>北河原は、見沼中と南河原中を選べる地域ではなかったか。そうすると南河原中学校区も統合という形になるのではないか。</p>
長島課長	<p>南河原小を指定校とさせてもらった場合、小中一貫教育を目指してい</p>

<p>吉田部長</p>	<p>るので、南河原中に進んでもらいたい。小学校がある中学校に進学してもらいたいというのがある。</p>
<p>出席者</p>	<p>基本的には北河原小の通学校区は見沼中になる。ただ、地理的に南河原中の方が近いので、市町村合併の時から南河原中への指定校変更を認めている。そのため、見沼中と南河原中に通っている生徒がいる。</p> <p>3校統合が一番だと思う。基本的な話だが、通学区を保護者の多数決で決めることがあり得るのかと思う。時間が変われば変わってしまう。5年後にアンケートを取れば、また通学校区が変わることにもなる。総合教育会議を見ると、よく市長が「民意だ」と言うが、そういうのを民意とは言わないと思う。そもそもアンケートというのは誰が言い出したのか。本来なら教育委員会が方針を示せばいいのに、アンケートで地域を分断して、保護者に「あっちがいい、こっちがいい」と苦労させること自体あり得ないと思う。ましてや、その中に自由選択を入れている。自由選択は市長が言っていて、教育委員会はそういう発想はないと思う。根幹的な原因がどこにあるかがなんとなく見えてくる。本来、教育行政は一貫性がないといけない。案では見沼中学校区で統合だったのに、統合を簡単に捨てて、アンケートになってしまった。あれだけの意思で統合を進めてきたのに、アンケートで皆さんにお任せしますとなり、責任は保護者になってしまった。「南河原にするならバスを出すけど、忍には出さないので保護者の責任で行ってください」というような無責任な教育行政はあり得ない。自分たちが間違っただけをやっていて責任を取るのであれば、最低限忍小にもバスを出すのが、今まで教育委員会が無責任にやってきた責任の取り方だと思う。北河原地域が大変なことになりつつある中で責任を取るということがどういうことか考えてもらいたい。</p>
<p>吉田部長</p>	<p>重い意見ばかりだった。これまでもどうすれば一番いいかを考えた中で、地域の説明会でも保護者の意見を尊重してというような声があったので、保護者の意見を把握する手段としてアンケートを取った。ただ、アンケートだけでなく、話し合いもしてきた。保護者が抱える不安や課題も一緒に考えてきた。最終的に意向を確認する手段としてアンケートを取った。</p>
<p>出席者</p>	<p>アンケートを取る段階で、学区制があるとか編入・統合の説明はしているのか。ただ保護者にどこの学校に行きたいというのでは、教育行政としてあるべきではない。うまくいかなければ、地域のせい、保護者の</p>

<p>吉田部長</p>	<p>せいになってしまう。バスの問題などアンケート前の条件が整理されていない。そういった状況でとったアンケートで、数で決めないとしながら数で決まっているようなので教育委員会の姿勢として疑問に感じる。私たちは地域の事を一番大事にしたい。そもそも、編入と統合で差をつけるのがおかしい。編入というのは学籍のない子が学校に入ること。北河原小という学籍をもっている。だから、編入というとは差別されているように感じる。教育委員会があえてそういう言葉を使っているかは知らないが、学校を一緒にするのは統合であるべきだと思う。</p> <p>最初のアンケートで、学校選択の際に最も優先することにチェックしてもらった。結果は、近いことが一番多かった。保護者がどういうことを考えているかということを知った。そして、それまでに話し合いで出ていた荒木小、南河原小、忍小、北小に対して、行ってもいいか、行きたくないかを聞いた。その中で南河原小が一番多く68%、忍小56%という結果も示してきた。地域でまとまった学校がご自身の希望する学校と違った場合の意向についても確認したら、希望にこだわらず地域でまとまった学校に行くとした方が40%、自由選択で希望する学校に行くとした方が44%でほぼ同じだった。こういう結果を示して、保護者とも話し合い、地域にも中間報告ということで示した。最終的にこのたびの意向調査という形になった。</p>
<p>出席者</p>	<p>今までの教育委員会の計画では、ことごとく受け入れ側の体制が整ってなかった。北河原はこれで行こうとなっていた。今度、北河原の全校生徒が他の学校に行くことになるが、その時に一番大切なことは、受け入れ側の学校の体制をどのように整えるかだと思う。北河原の児童が来たから受け入れてやるかというのでは困る。児童がその学校に行くと、「北河原小は良かったけれど、ここもいいな」という体制を整えないといけない。複式学級の解消ができて良かったというのでは困る。教育委員会として受け入れ側の学校に対してどのような指導を考えているのか聞きたい。</p>
<p>鈴木教育長</p>	<p>お話のとおりだと思う。受け入れ側の対応如何によっては今進めている趣旨である多くの子ども達の中で色々な事を学びながら学校生活を送っていくということが崩れてしまう。南河原小だけでなく、忍小や桜ヶ丘小の受け入れ側にも説明会をして、色々な形で学校の受け入れ態勢は整えていきたいと思う。それには、どこの学校に行くかがはっきり決まらないと、その先に進まない。こういう形で方針を出して、了解をいただいた上で、受け入れ側の学校の保護者にもPTAにも説明し、学校</p>

出席者	<p>の職員体制にも指導をしていくし、支援もしていく。そこはしっかりや っていきたい。</p> <p>意見を聞きながら一生懸命やってきたようだが、今聞いていると、忍 小という父兄もいる。そうすると通学に対しての保護者の負担も大き い。自分勝手だからということだけでなく、ここまで来ればバスに乗れると か、帰りはどうなのかとか示してもらった方が保護者もいいと思う。 色々解消できる可能性があると思う。それがなければ心配だと思う。南 河原に行くにしても2kmが限度となると、歩いて行く子は何人かだ と思うから、北河原小まで歩いて来てもらって、そこから南河原小に行く などといったものを提案してもらえるとありがたい。</p>
吉田部長	<p>忍小に通う方のバスの話だが、可能な限り検討したい。ただ、28人 乗りのバスを出すとするとも年間700万～800万かかるので、例えば 5人とかに新たに1台出すことが難しいのは理解していただけたと思 う。既に予定しているバスをうまく活用するのはできなくはない。循環 バスは公共交通会議で検討している。教育委員会としても、将来的に中 学生が使えるような利便性を確保できるように担当部署と連絡を取り ながら、要望していきたい。</p>
出席者	<p>今日の趣旨としては、南河原小に行く、希望者は忍小に行ってもよく、 バスを検討してくれるとなった。星宮のバス停に行ったらという話で、 父母だけでうまくいかない時にサポートできないか。家まで送るとい ったシステムを持続できる方向性は考えられないか。今の在校生は忍小に 通う許可がもらえるということだが、これから上がってくる子の中に忍 小へ行きたい方が出てきた場合、窓口を開けておいてほしい。</p>
吉田部長	<p>通学のサポートについては、地域にサポートしてくれる人がどの程度 いるか、どういう組織があるか、学童の送迎はあるが通学のサポートと なるとNPOとか防犯の役員がやっている学校もあるが、そういうこと が地域の中でできるのか。よその地域から来てやることはないと思うの で、地域の方に協力いただかなければならないと思う。確約はできない。 防犯のこととかで、そういった保護者の意見があるということで、協力 できるかどうかというのはお願いできるのかもしれない。他の学校の選 択は、令和4年に限定して考えている。ただ、先日の教育委員会でもそ れ以降も検討していいのではないかという意見が出ていた。令和5年度 以降については、これから検討してく。</p>

出席者	<p>総合教育会議での市長の発言に、地域の方も納得した上でとあったが、この段階で納得しているかと言うと、していないと思う。納得したということはどうやって捉えるか。今回は教育委員会で決定した内容も配られておらず、口頭で言われただけ。バスについても口頭で言っているだけ。きちんと文書で提示して納得を得る。保護者は変わるので、今通っている保護者だけでは済まない。そういう事も考えて、どういう形で納得を得るかを提示してもらうなど、如何に納得を得たという確証を得るか、そういう場を設定してほしい。</p>
吉田部長	<p>この内容で進めさせていただきたいという思いがある。この後の手続き的な部分は、6月議会に学校設置条例の改正を出す。須加小と荒木小と北河原小を廃校とし、新たに須加荒木の統合校を新たな学校を新設するという手続きになる。南河原小は何の手続きもない。地域の了解は、できれば本日の説明会で了解をいただきたいと思っている。</p>
出席者	<p>これから変わるかもしれない。</p>
出席者	<p>これで令和4年に向けて歩みだせますかというアンケートを取った場合、私は納得していないのだが、ほぼほぼ占めたら令和4年4月に廃校になるのか。というような形を取っても仕方ないくらい数字にとらわれている。納得しないままこの人数なのでこう決めましたとなっている。令和4年4月に廃校しますという文書が来て、あんなにどうなるのか悩んでいたのに文書一枚で決まっちゃったんだねとお母さんたちと話してた。3月末に手紙が来て、どちらに行きますかというどちらかにしか〇が付けられないアンケートが来て、日にちも2日間くらいしかなく、あまりにもひどいアンケートだと思った。納得は全くしていない。</p>
吉田部長	<p>どういう風になるのか明文化されていないことに不安はあると思う。一度作って、各世帯回覧みたいな形で見ていただく。</p>
出席者	<p>文書で南河原小に決まりましたというのでは納得できないと思う。納得させるには、例えば、忍中にもバスを出すとか、納得させられるような条件を考えて、提案してほしい。親として困っている状況を打開できるように考えて、提案し、納得してもらおう。そうでないと、ガス抜きして終わりですとなってしまふ。そういう問題ではない。そういうことも含めて提案してもらいたい。</p>
吉田部長	<p>今日出た意見でお答えできるのはそこまでで、それ以上のものは今の</p>

出席者	<p>段階でお話しできることは中々ない。そういった中でどの程度改善できるか自信がないが、保護者の皆様に改めて提示して意見をいただく場を設けることでどうか。</p>
吉田部長	<p>保護者だけでなく、同じようにやってもらいたい。</p>
出席者	<p>6月議会もあるので、今からだと連休明けに集まってもらうことになるかもしれない。ただ、出来る限りのことを話したため、今日以上に新たなものが加わるかわからないが、もう一度考えてみたい。</p>
出席者	<p>地域のことなので、自治会も情報共有したい。</p>
吉田部長	<p>地域を含めた形で考えたい。</p>
出席者	<p>南河原小とのことが白紙になった時は在学していたので状況はわかっているのだが、白紙の理由を教育委員会は把握していると思う。今回、アンケート取って南河原になったのだが、地域とか児童の問題点は解消されているか。</p>
鈴木教育長	<p>私が教育長になった時に前回の大きな理由としては、北河原と南河原の問題だけでなく、市全体で過小規模が出てくるのだから、市全体計画の中に位置付けて考えてほしいということで、再編成計画を作った。委員会としてこれまでなかったことを言われた。あとは、南河原と北河原の地域協議会で何年も話し合ってきたのが、教育委員会の采配のまずさで一致しなかった。その轍を踏まないために、今回の再編成計画と、できるだけ地域と保護者の意見を聞いてやってきたつもりである。</p>
出席者	<p>特に未就学児は4年前のことを把握していない上での結果なので、数字だけでこう決めますというのでは納得いかない部分がある。</p>
出席者	<p>最低条件として北河原地区の学校として見たい。10年以上前に地区委員会を立ち上げ、新しい学校を作るところまで話が進んでいたが、校名を考える段階まで来て、突然校名を変えないとなった。それを決めた会議の議事録を見たいと求めたら、改ざんしたものが出来た。それを私たちは怒って、白紙に戻すように求めた。行政は何年かで見なくなる。当時の経緯がわからなくなる。ひとりだけ転校してくるのは違う。北河原の人たちの学校といえない。地域を無視している。</p>

司会	5 閉会
----	------